



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月13日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶田 直  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部マネージャー (氏名) 新井 賢太郎 (TEL) 0475-27-1011  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	19,959	5.4	2,020	16.0	2,071	9.7	1,366	2.5
2018年12月期第1四半期	18,933	10.6	1,741	13.6	1,888	14.1	1,333	14.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,486百万円( 32.7%) 2018年12月期第1四半期 1,120百万円( 1.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年12月期第1四半期	50	41	50	09
2018年12月期第1四半期	48	66	48	35

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2019年12月期第1四半期	92,799		77,298		79.8	
2018年12月期	91,956		76,193		79.3	

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 74,042百万円 2018年12月期 72,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00	
2019年12月期	—					
2019年12月期(予想)		14.00	—	14.00	28.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	
第2四半期(累計)	36,500	11.8	2,000	△8.5	2,200	△10.9	1,500	△13.4	55.35	
通期	69,000	6.5	2,500	△10.4	2,850	△12.5	1,900	△15.1	70.11	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	30,336,061株	2018年12月期	30,336,061株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	3,219,717株	2018年12月期	3,234,282株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	27,113,809株	2018年12月期1Q	27,400,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高については、主に建設事業の売上高が増加したことにより、5.4%増加の19,959百万円となりました。また、建設事業の利益の増加やヨウ素販売価格の上昇などにより、営業利益については16.0%増加の2,020百万円、経常利益については9.7%増加の2,071百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については2.5%増加の1,366百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### <ガス事業>

発電用途でのガス販売量が減少したものの、輸入エネルギー価格の影響による一部のガス販売価格の上昇などにより、売上高については0.5%増加の17,505百万円となりました。一方、一部のガス仕入価格の上昇などにより、営業利益については1.7%減少の1,988百万円となりました。

#### <ヨウ素事業>

国際市況が引き続き回復基調で推移し、ヨウ素販売価格が上昇したことなどにより、売上高については9.3%増加の1,013百万円、営業利益については21.6%増加の416百万円となりました。

#### <その他>

連結子会社の取得やグループ企業再編の影響によって建設事業の売上高が増加したことなどにより、売上高については141.7%増加の1,440百万円、営業利益については913.4%増加の313百万円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

#### <資産の部>

流動資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4.0%増加の36,228百万円となりました。また、固定資産は、建物及び構築物や機械装置及び運搬具の減価償却が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ1.0%減少の56,570百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加の92,799百万円となりました。

#### <負債の部>

流動負債は、ガス需要の季節的変動による支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5.2%減少の8,470百万円となりました。また、固定負債は、設備投資資金の調達による長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2.9%増加の7,030百万円となりました。以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少の15,501百万円となりました。

#### <純資産の部>

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1.4%増加の77,298百万円となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の見通しについては、2019年2月12日付の「2018年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更ありません。詳細については、2019年2月12日付の「2018年12月期 決算短信」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,691	13,252
受取手形及び売掛金	7,000	6,979
有価証券	1,872	13,600
たな卸資産	1,492	1,306
その他	789	1,104
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	34,832	36,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,276	12,044
機械装置及び運搬具（純額）	17,445	17,229
その他（純額）	10,133	10,169
有形固定資産合計	39,855	39,443
無形固定資産		
1,853	1,853	1,809
投資その他の資産		
投資有価証券	13,313	13,462
その他	2,149	1,903
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	15,414	15,318
固定資産合計	57,123	56,570
資産合計	91,956	92,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,729	4,330
引当金	27	54
その他	4,174	4,086
流動負債合計	8,931	8,470
固定負債		
長期借入金	746	996
退職給付に係る負債	4,968	4,898
引当金	130	140
その他	985	994
固定負債合計	6,830	7,030
負債合計	15,762	15,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	14,291	14,304
利益剰余金	52,340	53,327
自己株式	△1,687	△1,679
株主資本合計	72,944	73,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	510
退職給付に係る調整累計額	△436	△419
その他の包括利益累計額合計	18	90
新株予約権	221	204
非支配株主持分	3,010	3,050
純資産合計	76,193	77,298
負債純資産合計	91,956	92,799

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	18,933	19,959
売上原価	15,020	15,693
売上総利益	3,913	4,265
販売費及び一般管理費	2,171	2,245
営業利益	1,741	2,020
営業外収益		
受取賃貸料	34	31
その他	125	32
営業外収益合計	160	64
営業外費用		
支払利息	4	3
賃貸費用	6	6
寄付金	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	14	13
経常利益	1,888	2,071
特別損失		
固定資産除却損	18	23
投資有価証券評価損	—	11
特別損失合計	18	34
税金等調整前四半期純利益	1,869	2,036
法人税等	490	630
四半期純利益	1,379	1,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,333	1,366

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,379	1,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△284	63
退職給付に係る調整額	25	16
その他の包括利益合計	△258	80
四半期包括利益	1,120	1,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,097	1,438
非支配株主に係る四半期包括利益	22	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,410	927	18,337	595	18,933	—	18,933
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	47	48	0	48	△48	—
計	17,411	974	18,386	595	18,982	△48	18,933
セグメント利益	2,022	342	2,365	30	2,396	△654	1,741

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△654百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△727百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,505	1,013	18,518	1,440	19,959	—	19,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	47	48	28	76	△76	—
計	17,506	1,060	18,567	1,468	20,035	△76	19,959
セグメント利益	1,988	416	2,404	313	2,718	△698	2,020

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△698百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△740百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。